

なぜもえるごみ袋の増額を検討するの？



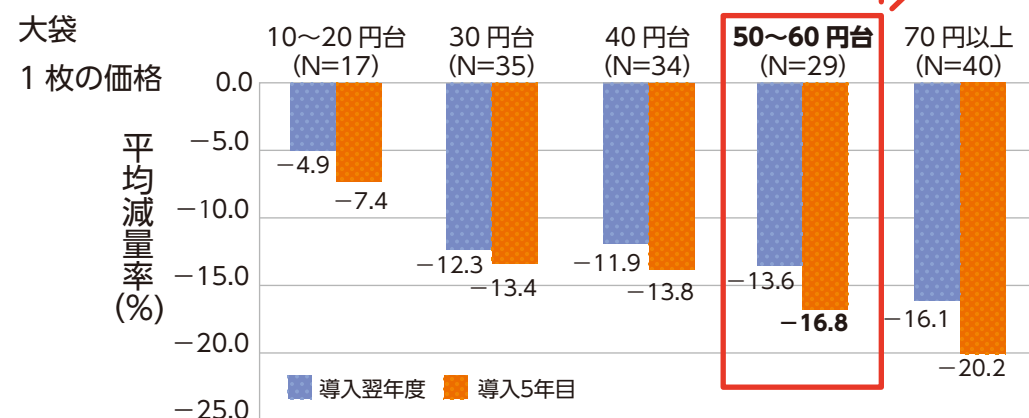
長久手市では、ごみを15%以上削減するための1つの方法として、もえるごみ袋増額の検討を始めています。これにより、プラスチック製容器包装・雑がみの分別や、もえるごみそのものの発生抑制に対する市民の行動がより進むことが期待できます。

もえるごみ袋の増額を検討する理由①

もえるごみ袋Lサイズ1枚の価格ごとのごみ減量率について、実際にごみ袋の値上げを実施した自治体を研究したデータがあります。研究結果では、大袋1枚の価格を50円以上とすると、市が目標としているごみ減量率15%の達成が期待できます。

手数料水準と家庭ごみ排出原単位の減量効果

(2000年度以降有料化導入・単純従量制155市)



出典：山谷修作（2018）ごみ減量プログラムの新たな展開と課題都市と廃棄物 P41-50

もえるごみ袋の増額を検討する理由②

ごみ減量に大きな効果がある施策として、全国的にも多くの自治体がもえるごみ袋の増額を実施しています。県内でもこの10年の間に9つの自治体が値上げを実施し、ごみ減量の成果を挙げています。隣の瀬戸市でも2023年9月からもえるごみ袋を増額することが決まっています。

市町村名	増額実施時期	ごみ袋1枚の価格	ごみ減量率
常滑市	2012年10月	15円程度→50円	20.0% (H23～R1)
知多市	2017年4月	15円程度→50円	15.9% (H28～R1)
田原市	2018年2月	15円程度→22.5円	7.8% (H29～R1)
東浦市	2019年4月	15円程度→45円	13.0% (H30～R2)
半田市	2021年4月	15円程度→50円	25.9% (前年同月比)
南知多町	2021年4月	15円程度→50円	31.0% (前年同月比)
美浜町	2021年4月	15円程度→50円	30.4% (前年同月比)
武豊町	2021年4月	15円程度→50円	16.6% (前年同月比)
阿久比町	2021年4月	15円程度→50円	19.4% (前年同月比)
瀬戸市	2023年9月	15円程度→50円	—

もえるごみ袋増額に関する地域意見交換会結果

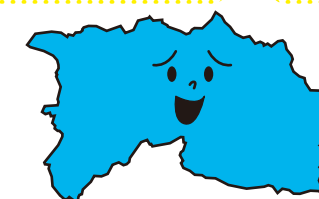
2021年10月から12月にかけて、市内各所で地域意見交換会を全32回開催し、もえるごみ袋の増額に関して意見交換を行いました。その中で多くの意見をいただいたので一部を紹介します。

ごみ袋増額に関する意見・要望

15円から50円の値上げは高すぎるので増額するのはやめてほしい。

減量が難しい紙おむつや剪定枝は値上げの対象から除外してほしい。

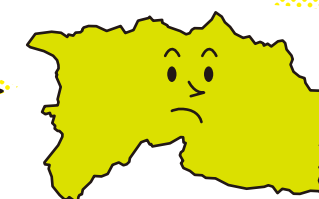
ごみ袋を増額すると不法投棄が増えるのではないかと心配している。



一気に15円から50円にするのではなく、段階的に上げてほしい。

ごみや資源の出し方

プラスチック製容器包装の意味や分別方法がわかりにくいので基準を示してほしい。

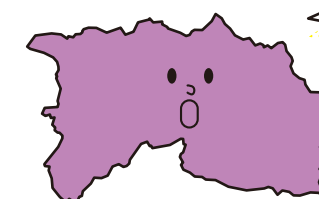


戸別回収ではなく、拠点回収にすれば時間短縮につながるのでは。

学生など若い世代が分別できていない傾向があるので、学生アパートや大学などをターゲットに啓発してほしい。

ごみ袋の仕様

ごみ袋が裂けやすいので、丈夫な材質に変更してほしい。

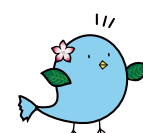


プラスチック製容器包装の指定袋のSサイズを作してほしい。

もえるごみ袋Lサイズを34ℓから他市町と同じ45ℓにできないか。

その他の意見は、市HPに掲載しています。地域意見交換会でいただいた意見を踏まえ、市としてもさまざまなごみ減量施策を実施するとともに、みなさんの意識を高めるための啓発を強化していきます。**市民1人1人がごみ減量に取り組むことでごみ減量目標を達成することができますので、一層のご協力をお願いします。**

※過去のごみ減量に関する特集も市HPで紹介しています。



今回は、長久手市のごみの現状や、もえるごみ袋増額の検討についてお知らせしました。今後も広報や市HP、回覧などで家庭でできるごみ減量の方法や、プラスチック製容器包装・雑がみの分別の仕方などについて紹介していきます。

